



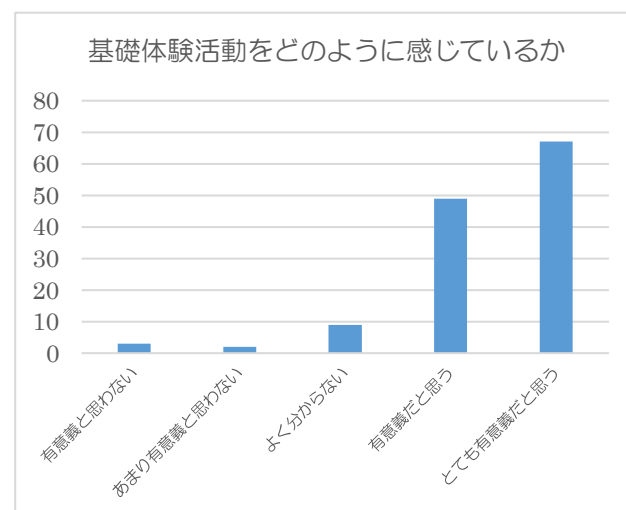
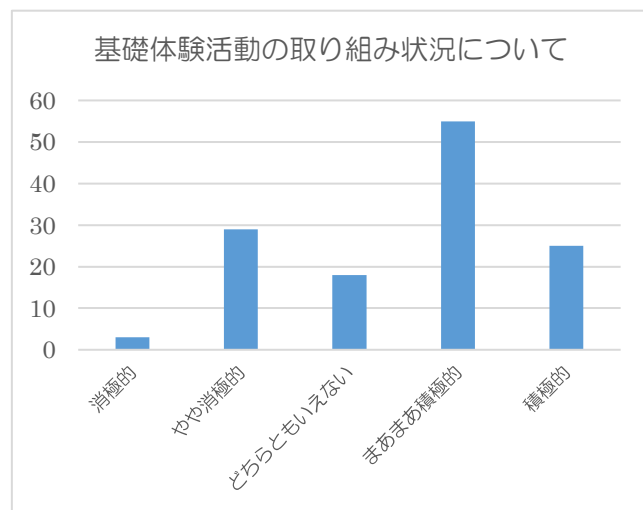
## スタートアップセミナーがありました。

1回生は本学に入学して、あっという間に半年が経ちました。大学生活4年間を時間に換算すると、24時間×365日×4年間で35040時間となります。島根大学教育学部では、1000時間体験学修を行っていて、この1000時間は約3%の割合にあたります。時間は誰にも平等に与えられるのですが、その時間をどのように過ごすかは、一人一人に委ねられます。この1000時間体験学修を自分自身の成長のために、有意義に取り組んでほしいとの思いから、これまでの取り組みについて振り返るスタートアップセミナーが9月26日（水）に行われました。

このスタートアップセミナーは、「入学時からの基礎体験活動の取り組みを振り返るとともに、活動参加への心構えや手続き等の再確認を行うこと。」「グループ内での体験発表会を通して、体験活動で得られる多様な学びや課題を共有すると共に、今後の活動への展望を持ち、意欲を高めること。」を目的にしています。1回生にとっては、1000時間体験学修のうち、540時間を自ら選択して活動していきます。既に積極的に取り組んでいる人も、前期はあまり取り組めなかった人も、今年度後期からは、4回生までの見通しを持って基礎体験活動に取り組み、主体的な人との関わりを通して島根大学教育学部が提唱する「10の教師力」を高めてほしいと思います。

## スタートアップセミナーのアンケートより

スタートアップセミナーに参加した1回生137名に、今年度前期（4月～9月）の基礎体験活動を振り返って、答えてもらいました。



基礎体験活動については、約90%が有意義な活動と回答した反面、基礎体験活動の取り組み状況は、積極的に取り組んでいると回答する学生は約62%に留まりました。「消極的だった」と回答した学生は、「忙しくて時間がなかったから。」「部活動や遊びを優先してしまったから。」「どの活動をしたらよいか分からないから。」など、体験活動が有意義だということは頭では理解しているものの、積極的に行動に移せなかった実態が分かりました。

## 1回生の感想より

- ◆いろいろな人がいろいろな想いで活動に参加しているのだと思った。自分が、足りない部分が多いなあと悩んでいるように、まわりの人も悩み事がありながら参加して成長しようとしているのだと感じることができた。自分も頑張らなければいけないと改めて感じた。
- ◆先生の話や、先輩の話を聞く上で、ますます基礎体験活動の意義を知ることが出来たと思うので、とても良かったです。グループでも話が出来たため、みんながどんな活動に参加したのか、参加して何を学ぶことが出来たのかなど詳しく聞くことが出来て、お互いのためになったと思います。
- ◆自分が教師になる為に必要な力を身につけるための1000時間体験だと思っていましたが、それだけでは不十分であり、教員目線、生徒目線、地域の方の目線、保護者目線という色々な視点を持って1000時間体験を取り組む必要であることが、学生アドバイザーや班のみんなの話を聞いて思いました。自分の視野を広げる、知識を深めるためにこれからも積極的に1000時間体験に取り組みたいと思います。
- ◆他人の基礎体験活動で得た情報や感想などを聞いて、自分が活動していて意識していなかったことに気づくことが出来てよかった。他人の意見を聞くことで今後の基礎体験活動を有意義にする良い機会だと思った。
- ◆先輩方のお話はとてもわかりやすく、とくに経験談はすごくためになった。しかし、今の私は目標もなくただノルマを達成するためにぼちぼち溜めていこうか、といった感じで取り組んでいるので、すごく意味のないものになっていると感じた。「これからの1000時間体験学修で新たにやりたいことや目標を見つけられたらいいな」と思い、今後は様々なジャンルの活動に取り組んでいこう」と思えたことが、なんだかんだ今回のスタートアップセミナーの収穫なのかもしれない。

